

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス「くれよん」			
○保護者評価実施期間	令和7年8月26日		～	令和7年9月16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数)	13名
○従業者評価実施期間	令和7年8月28日		～	令和7年9月11日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	地域の社会資源を活用した活動が豊富	地域の商店や社会資源を活用した活動の提供を行っています。「おはなしのへや」の活動ではこれまで事業所内で職員が読み聞かせをしておりましたが、今年度は地域の図書館に出向き好きな本に触れ合える時間を設けました。自分の好きな本に集中して読む時間や、公共施設でのマナーの学びにも繋がっていると感じます。	日常の活動の中で社会資源を活用し公共の場のマナーを身につけていくとともに、日々の経験が長期休暇中の外出にも繋がるよう引き続き支援していきたいと思います。また、地域の皆様にくれよんの存在を知っていただけるような活動を提供していきたいと思います。
2	様々な学校のお子様を通っており、お子様同士の交流が活発です。	現在、支援学校を含め地域にある5つの学校に通うお子様が利用しています。学校や学年の垣根を超えて幅広く関わり、遊ぶ様子が見られています。関わりの中で物の貸し借りや遊び方を学びながらお子様同士で成長しあえる環境になっています。	引き続き、お子様同士での関わりを尊重しながらお互いが成長し合える場所となるよう支援していきたいと思います。お互いのことを理解し合えるよう職員が仲介となり、様々なお友達と交流し合える活動の提供に努めていきます。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動プログラムの固定化	活動内容が重複してしまったり、バリエーションに欠けていることもあり、また、年齢や発達段階に応じた活動内容の提供について、工夫が必要です。	お子様や保護者様のご希望をお聞きしながら、現在の活動プログラムの見直しを行い、活動場所や活動時間に応じたプログラムの検討を行います。また、お子様が楽しく参加できる活動のバリエーションを増やしていきたいと思います。
2	特定の配慮が必要なお子様への支援方法の共有	利用開始時や年1回、アセスメントを行っていますが、特に健康面（食物アレルギー等）に関しての情報の不足があります。よりきめ細かいアセスメントを行う必要性があります。	健康面（食物アレルギーや発作症状など）に関する研修会を行い、職員の共通理解を深めていきたいと思います。また、保護者様と事業所での対応方法や緊急時の対応について情報共有を行い、きめ細かいアセスメントを行います。安心して過ごせるよう整備していきたいと考えています。
3			